

## IPCC 第五次評価報告書の解説～エンジニアの視点

2019 年の JSPE Day のテーマが「気候変動」であったこと、基調講演でお話いただいた弘前大学の野尻先生の提案もあり、JSPE マガジンでも IPCC の第五次評価報告書について取り扱い、皆さんで理解を深めたいと思います。

IPCC の評価報告書は図 1 に示すように、第 1～3 の作業部会が作成したレポートに加え、三つの報告書を統合した統合報告書からなります。

- ・第 1 作業部会：気候システムの評価としての科学的根拠を論ずる
- ・第 2 作業部会：気候変動が生態系などに及ぼす影響や適応策についての評価を示す
- ・第 3 作業部会：気候変動対策の一つである緩和策についての評価を示す

※IPCC のレポートには環境省や気象庁が発表する日本語版もありますが、ボリュームも多く、英語版ではそれぞれ 1000 ページ以上（作業部会による）になります。

今後の JSPE マガジンへでは、必要に応じてフルレポートを参照しながら数十ページの要約を読み解いて、**人間の福祉・健康に及ぼす影響やエンジニアとしてそれらを守るための緩和や適応といった対策への解説を数回に渡って連載**していこうと思います。会員の皆様には分担して解説にご協力いただくと幸甚にございます。ぜひ協力したいという方は広報部会（[public.2007@jspe.org](mailto:public.2007@jspe.org)）までご一報ください。



図 1 IPCC の構成

出典：全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）, IPCCとは？